

Q 28

次の文は、子どもの描画の発達における一般的に「象徴期」と呼ばれる段階の記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

平成25年 問8

- | | |
|-----------------------------------------------------|------------------|
| A 手と目が連動して動くことにより、円形等を描くようになる。 | (組み合わせ) |
| B 別の呼び名では「図式期」ともいう。 | A B C D |
| C おおよそ2歳頃から見られるようになる描画表現の形式である。 | 1 ○ ○ × × |
| D 画面上に描かれた形と具体的なイメージとが結びつき、形に名前を付けるようになっていく。 | 2 ○ × ○ ○ |
| | 3 × ○ ○ ○ |
| | 4 × ○ ○ × |
| | 5 × × ○ ○ |

Q 29

次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

平成28年 問9

**【事例】**

新任保育士(以下F)と主任保育士(以下G)が、保育所の夏祭りで子どもたちに配る「かき氷」の三色のシロップについて話し合っています。

【設問】

(A)～(D)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

F：これらのシロップを混ぜるとどんな色になるのでしょうか。

G：一般的に「青」と「赤」と「(A)」の3つの色を「(B)の三原色」といいますね。

この3つの原色の分量を変えて混ぜると様々な色が出来ます。

F：カラーテレビなどの画面は「赤」、「緑」、「青」の「(C)の三原色」によって様々な色を表現していると聞いたことがあります、「(B)の三原色」とは、異なっているのですね。

G：そうですね。「かき氷」にかけるシロップも、絵の具のような混色ができますよ。どうぞ、混ぜてみて下さい。

F：「(A)」と「青」のシロップを混ぜると「(D)」に近い色になりました。

G：三色で様々な色が楽しめますね。

(組み合わせ)

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| | A | B | C | D |
| 1 | 黄 | 色 | 光 | 緑 |
| 2 | 黄 | 光 | 色 | 緑 |
| 3 | 緑 | 色 | 光 | 紫 |
| 4 | 緑 | 光 | 色 | 紫 |
| 5 | 緑 | 色 | 光 | 黄 |